



【介護部門】 訪問看護ステーション 笑顔写真あれこれ

訪問の場面では、時々、在宅療養されている姿をとらせていただいています。

カメラを向けると今までにないような笑顔を見せてくれます。今回はそんな在宅療養でとらえた利用者様方のお写真を紹介したいと思います。

Mさんは、呼吸器疾患で長期在宅療養中

ここ2～3年は、通院以外は外出されることもなく、自宅で過ごされてきました。入退院も増え、元気なころは毎日のように通っていた喫茶店へも通えなくなり「仕方がない」「こんな体じゃ外にも出られない」と後ろ向きな言葉ばかりが聞かれました。



※御本人の了解を得て掲載しています

Mさんは、訪問看護と訪問リハビリを利用されています。訪問スタッフもなんとか外出の機会が得られるように、働きかけました。そして、外出することが怖い理由に、自宅にある車いすが、安定しないことがひとつの要因であることが解りました。そこで車いすの選定を行い、福祉用具で対応したところ、安定感から“これだったら外出しても大丈夫”と自信が出てきました。

そして、訪問スタッフの付添のもと、何年ぶりでしょうか、通院以外に屋外に出ることが可能となりました。愛犬と共に、素敵な笑顔、それ以上に寄り沿う奥様の笑顔が、とても印象的でした。なじみの喫茶店に行くのは、段差などの問題もあり難しいようですが、少しずつ前向きなMさんを、奥様と一緒に、これからも応援したいと思います。

Hさんは奥様と2人暮らし

一時は食欲低下・気力低下から体重減少が著しく、去年は寒い冬を越しての桜の花見も難しいかも、と奥様は感じていました。

元々、お料理が大好きな奥様は、日々の食事づくりを工夫され、何とか一口でも栄養になるものを、と奮闘されていました。しかし、どんなに工夫しても、なかなか食事は進まず、高カロリー栄養補助食品に頼る日々が続いていました。その状態の中、訪問看護や訪問入浴を導入しながら、ご夫婦2人の生活に刺激を与えていくうちに、少しずつHさんの気力向上がみられるようになりました。



※御本人の了解を得て掲載しています

看護師と3人で、奥様の手作りの料理とお茶を一緒にいただくと、知らず知らずに食べ物を口にすることも増え、体調も安定してきたのです。そして、車いすにて訪問リハビリスタッフから、庭先のお花見もさせてもらうことができ、米寿のお誕生日も迎えることができました。その日は、遠方の息子さんからの心のこもったプレゼントが届き、満面の笑顔で記念撮影をすることができました。体調の安定は、Hさん自身の気力と奥様のサポートがあってこそですが、訪問看護が少しでも力になれて嬉しく思います。

微力ながら、これからもお二人を応援していきます。

私達は皆様のホームナースです！

困りごとの解決をご一緒に考えます。



訪問看護・訪問リハビリのお問い合わせ 電話 48-6615
一之瀬訪問看護ステーション・一之瀬訪問リハビリテーション事業所